

まだ出会っていない 歴史がある。

事件や改革だけが、歴史じゃない。

捨馬禁止!? にせ薬・にせ金作り!?は御法度。人々の暮らしも歴史です。

「高札」をみてよんで、ひも解く展示会。知らなかった歴史にきっと出会えます。

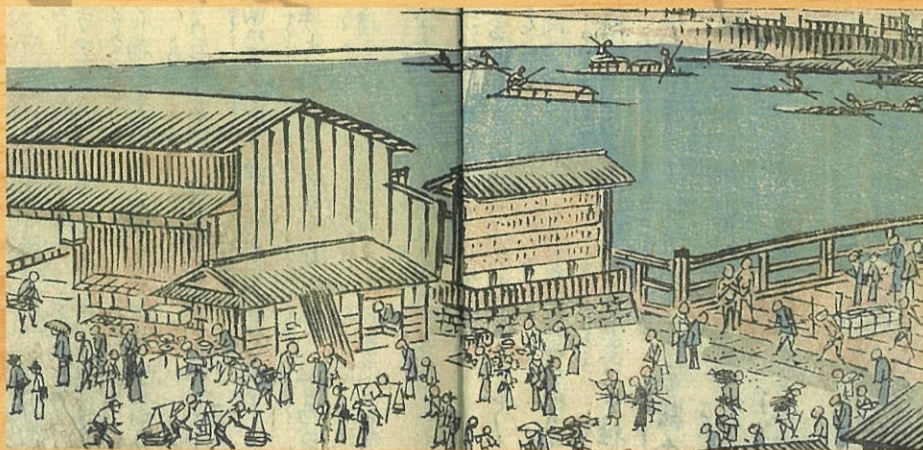
関西大学博物館 二〇一九年度春季企画展
徳山喜昭コレクション展

高札をみる、よむ

2019 | 4/1 (月) → 5/19 (日)

関西大学博物館特別展示室 | 関西大学千里山キャンパス
簡文館内

開館時間 | 10:00 - 16:00 入館料 | 無料 休館日 | 日曜日・祝日
特別開館: 4月7日(日)、5月19日(日)



19世紀半ば頃の大坂・日本橋の様子。
日本橋のたもとに高札場があり、高札が掲示されていました。

浪華の賑ひ(関西大学図書館蔵)

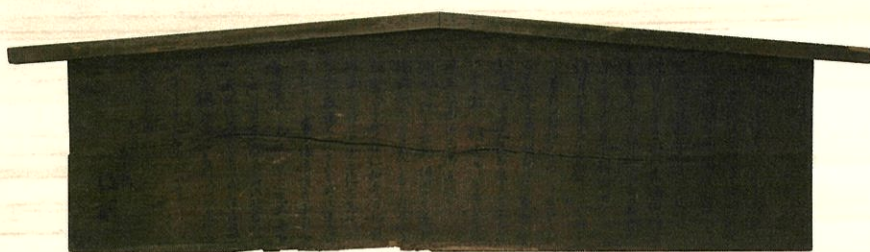
高札をみる、よむ

本企画展では、本学の理事・評議員を務めた校友の故徳山喜昭氏が蒐集した、江戸時代から明治時代初期までの高札約30点を中心に展示いたします。

高札とは、主に江戸時代に幕府や藩が法令などを墨で板に書いたものです。内容は親孝行や精勤の奨励、贅沢やキリスト教の禁止など、人々の生活や秩序に関するものが大半で、人の多く集まる宿場や町かど、橋のたもとなどに置かれた高札場に掲示されました。大阪では、『摂津名所図会』などに描かれた高麗橋西詰の高札場が知られています。

高札には、黒船来航(1853年)や戊辰戦争(1868年)など、教科書にでてくるような事件や日常のありふれた出来事なども書かれています。また、1868年、旧幕府の高札を撤廃して、明治政府が掲げた五枚の高札(五榜の掲示)は、歴史の転換を如実に表すものといえます。実際に高札をみてよんで、当時の空気感に触れていただけましたら幸いです。

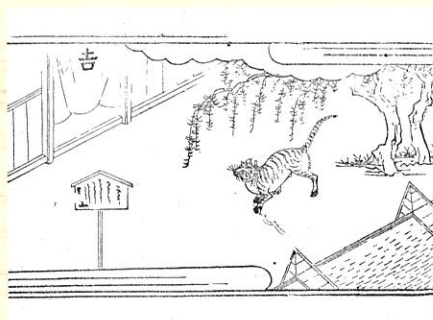
■ 展示品



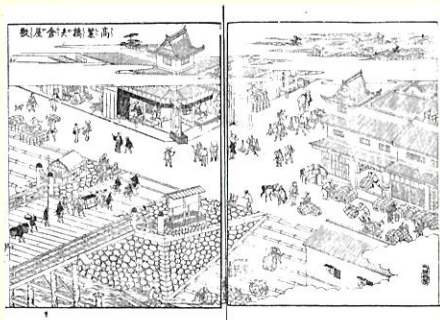
慶応四年正月高札(徳川慶喜追討令)《徳山コレクション》



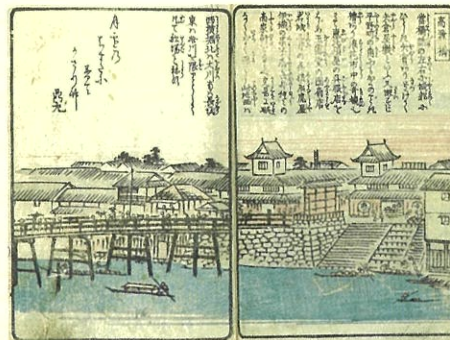
慶応四年三月高札(五榜の掲示第一札)《徳山コレクション》



ねこのさうし(関西大学図書館蔵)



摂津名所図会(関西大学図書館蔵)



浪華の賑ひ(関西大学図書館蔵)

■ 関連講演会とイベント

講演

「高札から読み解く近世社会」

日時/2019年5月11日(土) 13:00~14:30

会場/関西大学博物館

講師/坂井市みくに龍翔館学芸員 上原 康生 関西大学博物館学芸員 佐藤 健太郎

※参加無料。要事前申込。

参加を希望される方は件名を「高札講演会」とし、①氏名(漢字・ふりがな)②連絡先(電話番号・E-mailアドレス)を記入のうえ、E-mailもしくは往復はがき(返信先住所記入のこと)にてお申込みください(E-mail:hakubutsukan@ml.kandai.jp)。

■個人情報、本講演会にのみ使用させていただきます。

展示解説

日時/2019年4月7日(日) 11:00~11:30

会場/関西大学博物館特別展示室

※参加無料。

■ 会場



関西大学博物館
Kansai University Museum

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL. 06-6368-1171
hakubutsukan@ml.kandai.jp
http://www.kansai-u.ac.jp/Museum